

～海の魅力を発信する「DJ 漁師」～
長井 貴之さん（今治市）

桜井漁業協同組合 1970 年生まれ
愛媛県青年漁業者連絡協議会 会長

FB <https://www.facebook.com/takayuki.nagai.790/>



☆経営概況☆

小型機船底びき網漁業 使用漁船（4.98トン）

4～11月 夜間操業 えび漕ぎ網、12月～3月 昼間操業 戦車漕ぎ網

漁場は瀬戸内海の燧灘 主な漁獲物はエビ、カニ(ガザミ)、マダイ、カレイなど

☆ここがポイント☆

■バブル崩壊で会社員としての自分の将来に不安を感じて

代々続く漁師の家系に生まれ育ち、周りも自分が後を継いで漁をするものだと考えていましたが、反抗心や外の世界も経験したいとの思いから、高校卒業後は企業に就職しました。就職して7年目にバブルが弾け、会社員としての自分の将来に不安を感じ、人に使われて働くのなら、自分の親父に使われる方がいいと思い、25歳の時に親父の底びき網漁船に弟子入りしました。親子船で6年間修行し、31歳の時に独立して自分の船を持ちました。競輪選手を目指したこともあり、体力には自信がありましたが、それでもきつい部分があるものの、海の上では、会社員時代のような、いやな上司や煩わしい人間関係はなく、組織の歯車の一部ではなく、すべて自分の責任で仕事を行い、時には会社員の1か月分を1日で稼ぐこともあるため、苦にはなりません。

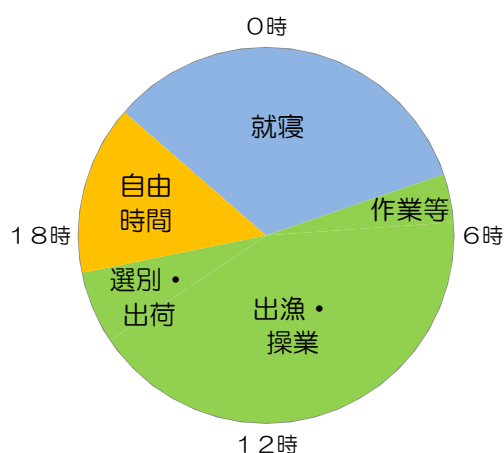


普段は底引き網漁師



週末はDJ 漁師（収録の様子）

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

■DJ漁師誕生☆

平成23年4月に友人から、コミュニティFM局のパーソナリティの依頼があり、断りきれない性格からボランティアとして引き受け、毎週、番組名「イマバリ魚々々（ぎよぎよぎよ）」を担当し、魚にまつわる話や漁業、海についての情報発信をしています。ラジオパーソナリティをきっかけに、人脈が広がり、環境NPO法人と海浜清掃活動をラジオを通して呼びかけたり、博物館学芸員と海の生物観察会や藻場造成に参画したり、小中学校への水産出前授業を行うなど、多忙ではありますが充実した生活を送っています。たまの気分転換に、競輪に行くことがありますが、漁以上に一発当てるのが難しく、日々修行中です(笑)。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日	
【繁忙期】	← 出漁 →	← 休日 →	← 出漁 →			← 休日 →	← 出漁 →
【普通期】	← 出漁 →	← 休日 →	← 出漁 →			← 休日（収録・ボランティア） →	



海ゴミもアートに「ビーチクリーン活動」

☆これからの夢や目指すもの☆

■今のままではジリ貧

私が独立した後も、親父は今も現役で漁を続けており、魚を獲ることにに関して、まだまだ親父に追いついてないけど、昔に比べて魚も減り、魚を食べる人も少なくなっているの、これまでのような、魚を獲るだけの漁師じゃジリ貧状態になってしまうのではないかな。自分はDJ漁師として、漁業の魅力を発信し、環境保全や魚食普及、稚魚育成の活動に自らも参画することで、地元漁業の継続的な発展を目指しています。

☆メッセージ☆

■漁師-流通業者-消費者の3者がwinの関係を築くために

情報発信はスマホや携帯があれば、いつでも誰でも、それぞれ、日本中に発信できるし、日本中から情報収集することもできるので、これを活用しない手はないでしょう。継続的な発展のためには、やっぱり、お金の面でメリットがないと頓挫してしまうので、漁師-流通業者-消費者の3者がwinの関係を築くため、漁師も消費・販売に関して積極的に関与する必要がありますね。